

政 務 活 動 一 覧

議員名： 川部 洋

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
2022/4/7 ～4/8	① 岡山市北 区内山下 2-4-6 ② 倉敷市中 央 1-1-15	① 岡山県文化 振興課 ② 大原美術館	① 課長 藤 原いずみ 氏 ② 学芸課長 柳沢秀行 氏	① 岡山県の文化芸術振興に ついて ② アートマネジメントにつ いて	4-19
2022/5/18 ～5/19	① 鳥取市東 町 1-220 議会棟 ② "	① デジタル行 政改革課・ 高等学校課 ・文化政策 課・医療政 策課・県民 参画協働課 ・子ども発 達支援課 ② 政調政審	①②とも 各担当	① 担当課レク ② 政調政審	5-11
2022/5/23 ～5/26	① 千代田区 永田町 2- 1-1 参議 院議員会 館 ② 千代田区 平河町 2- 7-4 砂防 会館別館 ③ 水戸市笠 原町 978- 6 ④ 豊島区上 池袋 4- 20-1-205 ⑤ 江東区清 澄 2-4-7 ⑥ 千代田区 永田町 2- 1-2 衆議 院第二議 員会館	① 総務省自治 行政局地域 情報化企画 室・自治行 政局行政課 ② 「新しい憲 法を制定す る推進大 会」 ③ 茨城県総務 部行政経営 課 ④ ノマドプロ ダクション ⑤ アルマスギ ャラリー ⑥ 宮崎政久 衆議院議員	① 行政課課 長補佐 藤本元太 氏、他 ② ③ 課長 大高 めぐみ 氏、他 ④ XXXXXXXXXX ⑤ XXXXXXXXXX 氏 ⑥ 衆議院議 員 宮崎政 久氏	① 自治体議会 DX について ② 「新しい憲法を制定する 推進大会」への出席 ③ 知事部局と議会のデジタ ル化の連携について ④ アートマネジメントにつ いて ⑤ アーティストとギャラリ ーとの良好な関係の構築 について ⑥ 表敬訪問	5-16

2022/8/2	① 浜田市三隅町岡見1810	① 三隅火力発電所	① 所長 河本修一、他	① 三隅火力発電所の視察	8-4
2022/8/4 ~8/5	① 国会議員会館 ② 江東区亀戸7-10-1-6	① 県選出国會議員 ② (株)ゼネシス	① 県選出国會議員 ② 取締役部長 渡辺敬之氏	① 倉吉市の脱炭素化推進についての協力要請 ② バイナリ発電の可能性についての調査	8-7
2022/8/16 ~8/17	① 津山市山下30-1ザ・シロヤマテラス津山別邸 ② 津山市野村253-1	① 鳥取県・岡山県県境議員連盟 ② CEF津山ウインドファーム(株)	① 県境議連会員 ② 大柿喜信氏	① 県境議連総会 ② 津山ウインドファームの視察	8-17
2022/8/30 ~8/31	① 京丹後市丹後町間人1780 ② 京丹後市丹後町竹野 ③ 京丹後市峰山町杉谷943 京丹後市峰山町杉谷 ④ 豊岡市山王町7-52	① 京丹後市役所丹後庁舎 ② 竹野漁港大成古墳公園道の駅てんきてんき丹後 ③ KISSUIEN Stay & Food 京都丹後鉄道峰山駅 ④ 芸術文化観光専門職大学	① 京都府丹後広域振興局局長 平井公彦氏、他 ② 山陰海岸ジオパーク推進協議会 他 ③ 北近畿タンゴ鉄道株式会社代表取締役 嵯峨根正和氏、他 ④ 芸術文化観光専門職大学副学長 川目俊哉氏、他	① 山陰海岸ジオパーク推進三府県議會議員の会総会 ② 京丹後の山陰ジオパーク施設等の視察 ③ 京丹後市のMaasについて担当者から話を聞き、現地視察 ④ 芸術文化観光専門職大学の視察	8-25
2022/8/31 ~9/2	① 千葉市美浜区中瀬2-1幕張メッセ	① RX Japan株式会社	② 脱炭素経営EXPO	① 自治体の脱炭素化推進に向けて情報収集とセミナーの受講	8-26

2022/10/09	① 米子市皆 生 3-16- 20 ② 米子市皆 生温泉 3- 18-3	① 米子サン・ アビリティ ーズ ② 米子市皆生 市民プール		① 全日本 Challenged アク アスロン皆生大会前夜祭 への参加 ② 全日本 Challenged アク アスロン皆生大会開会式 への参加	10-9
------------	---	--	--	--	------

<p>2022/11/8 ~11/11</p>	<p>① 青森市長 島 1-1-1</p> <p>② 青森市三 内字丸山 305</p> <p>③ 上北郡六 ヶ所村尾 駁家ノ前 1番7</p> <p>④ 上北郡六 ヶ所村大 字尾駁字 沖付 4- 108</p> <p>⑤ 八戸市大 字白銀町 字三島下 101</p> <p>⑥ 久慈市侍 浜町本町 9-54-1</p>	<p>① 青森県庁</p> <p>② 三内丸山遺 跡センター</p> <p>③ 環境科学技 術研究所</p> <p>④ 日本原燃 (株)</p> <p>⑤ 八戸市水産 事務所</p> <p>⑥ 積水バイオ リファイナ リー (株)</p>	<p>① 観光国際 戦略局観 光企画課 まるごと あおもり 情報発信 グループ マネー ジャー総括 主管 森 庸宏氏</p> <p>② 副所長 小関英規 氏、他</p> <p>③ 特任相談 役 トリチ ウム研究 センター 次長 共創 センター 次長 工学 博士 吉 田聡氏、 他</p> <p>④ 常務取締 役 常務執 行役員 経 営企画本 部副本部 長 平木 宏二氏</p> <p>⑤ 農林水産 部水産事 務所主幹 十文字俊 祐氏、</p> <p>⑥ 代表取締 役社長 久 慈事業所 長 戸野 正樹氏</p>	<p>① 青森県の食と観光につい て</p> <p>② 青森県の歴史資産・遺跡 を活かした観光について</p> <p>③ 燃料廃棄物の再処理の現 状について</p> <p>④ 〃</p> <p>⑤ 八戸漁港の衛生管理につ いて</p> <p>⑥ ケミカルリサイクル実証 プラントの現地調査</p>	<p>11-9</p>
-----------------------------	--	---	---	--	-------------

2022/11/16 ~11/18	① 大阪市住之江区南港北 1-5-102 インテックス大阪	① RX Japan 株式会社	② 関西脱炭素経営 EXPO	① 自治体の脱炭素化推進に向けて情報収集とセミナーの受講	11-14
2022/11/23 ~11/24	① 広島市中区上鞆町 2-22 広島県立美術館 ② 広島市中区小町 4-33	① 広島県立美術館 ② 中国電力(株)	① 主任学芸員 角田新氏 ② カーボンニュートラル推進本部 部長 上田和彦氏	① 県立美術館が地域の文化芸術振興に果たす役割について ② 脱炭素の推進における中国電力と倉吉市の連携について	11-20
2023/1/25	① 鳥取市安長 205-2 ② 鳥取市東町 1-220 議会棟	① (株)ウッズカンパニー ② 政調政審	① 代表取締役社長 谷本弘樹氏 ② 各担当	① ウッズカンパニーのまちづくりについて ② 政調政審	1-14

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 岡山県のアート振興について ② 地域でのアートマネジメントについて
活動年月日	2022年4月7日～4月8日
場 所	① 岡山市北区内山下 2-4-6 ② 倉敷市中央 1-1-15
活動の相手方	① 岡山県文化振興課 課長 藤原いずみ氏 ② 大原美術館 学芸課長 柳沢秀行氏
活動の目的	① 鳥取県と岡山県のアート振興策を比較し参考にする。 岡山県北部で行われているアート活動との連携の可能性を探る。 ② 地域でのアート活動とマネジメントについて話を聞き、参考にする。
活動の内容	① 岡山県文化振興藤原課長から説明を受けた。 ② 大原美術館柳沢学芸課長から説明を受けた。
活動の結果等	① 岡山県のアート活動の振興は知事部局の文化振興課が担当しており、美術館もその所管にある。トリエンナーレ形式で行っている大規模なアートイベント「瀬戸内国際芸術祭」には香川県とともに実行委員会に参加し、その開催にあわせて「岡山芸術交流」、「美作三湯芸術温度」も実施して、文化による観光も進行している。鳥取県では大規模なアートイベントの開催は難しいが、岡山県北部で行われる「美作三湯芸術温度」に合わせて、アートイベントを仕掛けて、誘客を図ることが必要だと感じた。 ② 文化庁の審査員をしていた柳沢氏から鳥取県の文化振興策が見えないことを指摘されたが、私も同様に感じている。美術館の開館に向けて、再度、文化政策課で今後の鳥取県の文化振興策を検討する必要があるように思う。また鳥取県の地域でのAIRの活動支援について紹介しながら、地域でのアート活動とマネジメントについて話をうかがったが、やはりアートマネージャーやディレクターの存在が重要なことを改めて認識した。
関連領収書番号	4-19

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 自治体議会 DX について ② 「新しい憲法を制定する推進大会」への出席 ③ 知事部局と議会のデジタル化の連携について ④ アートマネジメントについて ⑤ アーティストとギャラリーとの良好な関係の構築について ⑥ 表敬訪問
活動年月日	2022年5月23日～5月26日
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ① 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 ② 千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 ③ 水戸市笠原町 978-6 ④ 豊島区上池袋 4-20-1-205 ⑤ 江東区清澄 2-4-7 ⑥ 千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ① 総務省自治行政局地域情報化企画室・自治行政局行政課 課長補佐 藤本元太氏、他 ② 「新しい憲法を制定する推進大会」 ③ 茨城県総務部行政経営課 課長 大高めぐみ氏、他 ④ ノマドプロダクション 〇〇〇〇氏 ⑤ アルマスギャラリー 〇〇〇〇氏 ⑥ 宮崎政久衆議院議員
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 自治体議会 DX の推進についての研究 ② 「新しい憲法を制定する推進大会」への出席 ③ 知事部局と議会のデジタル化の連携についての研究 ④ アートマネジメントについての研究 ⑤ アーティストとギャラリーとの良好な関係構築についての研究 ⑥ 表敬訪問
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 自治体議会 DX について、総務省自治行政局地域情報化企画室・自治行政局行政課の課長補佐藤本元太氏と意見交換を行った。 ② 「新しい憲法を制定する推進大会」に出席した。 ③ 知事部局と議会のデジタル化の連携について、総務部行政経営課課長 大高めぐみ氏から話を聞いた。 ④ アートマネジメントについて、ノマドプロダクション橋本誠氏から話を聞いた。 ⑤ アーティストとギャラリーとの良好な関係の構築について、アルマスギャラリー八木宏基氏から話を聞いた。 ⑥ 宮崎政久衆議院議員を表敬訪問した。

活動の結果等	<p>① 鳥取県議会の DX 化を推進するために、総務省の考える今後の方向性や全国的な課題などについて意見交換を行ったが、あまり現場のことを理解しておられず、私の問題提起に対して的確な回答が得られなかった。</p> <p>② 「新しい憲法を制定する推進大会」に出席した。</p> <p>③ 議会の DX 化には知事部局との連携が必須だと考えており、デジタル化の進んでいる茨城県での状況を尋ねたが、参考になるような取り組みが見られなかった。</p> <p>④ 鳥取県が支援している地域でのアート活動について、ノマドプロダクションとしてマネジメント等に関わることができないか尋ねたところ、条件等を調整する必要があるが関心があるという回答をもらった。</p> <p>⑤ 地方でギャラリー経営は可能か、アーティストとギャラリーが良好な関係を構築するにはどうしたらいいか意見交換をし、大変参考になった。</p> <p>⑥ 私の高校時代の先輩と大学で同級生だったという宮崎議員を紹介してもらい、今後さまざまな案件で協力いただきたい旨を依頼した。</p>
関連領収書番号	5-16

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 中国電力三隅火力発電所の視察
活動年月日	2022年8月2日
場所	① 浜田市三隅町岡見 1810 中国電力三隅火力発電所
活動の相手方	① 三隅発電所長 兼 三隅発電所建設所長 河本修一氏 三隅発電所副所長 兼 三隅発電所建設所 副所長 山田浩史氏 鳥取支社長 藪根剛氏・鳥取副支社長 小林弘明氏
活動の目的	① 脱炭素に向けての中国電力の三隅火力発電所の位置づけを知るため
活動の内容	① 三隅火力発電所の視察
活動の結果等	<p>① 電力小売りの自由化で旧一般電力事業者も新電力会社との競争にさらされ、経営体質の強化を図る一方で、環境負荷の低減を目指し脱炭素化も推進しなければならない中国電力にとって、比較的価格も安定的で確保のしやすい石炭と、木質バイオマスを混焼する三隅火力発電所に対する期待が大きいことが分かった。</p> <p>しかし、本来、木質バイオマスの活用は、林業の振興による国内産（特に地元産）の間伐材等の利用に大きな意味があったはずで、地球規模でのCO2削減に効果があるという理屈をつけても、輸入木質バイオマスに頼ることは本末転倒だと考える。</p> <p>中国電力は今後も原子力と石炭火力を発電の大きな柱に据えており、当面の方向性としてそのことが間違っていないとは思わないが、将来的には脱原発と再生可能エネルギー発電による電力の地産地消にももっと経営資源を割くべきではないかと感じた。</p>
関連領収書番号	8-4

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 県選出国會議員に倉吉市の脱炭素化推進についての協力要請 ② バイナリ発電の可能性についての調査
活動年月日	2022年8月4日～8月5日
場所	① 国会議員会館 ② 江東区亀戸7-10-1-6
活動の相手方	① 県選出国會議員 ② (株)ゼネシス 取締役部長 渡辺敬之氏
活動の目的	① 倉吉市の脱炭素化を推進する ② バイナリ発電の可能性についての調査
活動の内容	① 県選出国會議員に倉吉市の脱炭素化推進についての協力を要請した。 ② (株)ゼネシス 取締役部長 渡辺敬之氏から話を聞いた
活動の結果等	① 倉吉市の脱炭素化に向けての今後の取り組みの方向性について説明し、協力要請を行った。 ② 地熱発電は高熱高圧の水蒸気が噴出する場所でないとできず非常に場所が限定される一方、温度差があれば発電できるバイナリ発電は、発電出力は小さいが様々な場所で使えることがわかり、可能性は大きいと感じた。
関連領収書番号	8-7

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 鳥取県・岡山県県境議員連盟総会への出席 ② CEF 津山ウインドファーム (株) の視察
活動年月日	2022年8月16日～8月17日
場 所	① 津山市山下 30-1 ザ・シロヤマテラス津山別邸 ② 津山市野村 253-1
活動の相手方	① 鳥取県・岡山県県境議員連盟会員 ② (株) CEF ■■■■■ 氏
活動の目的	① 鳥取県・岡山県県境議員連盟総会への出席 ② 大規模風力発電施設の建設についての調査
活動の内容	① 鳥取県・岡山県県境議員連盟総会に出席し、鳥取県と岡山県の県境に関わる現状や課題について意見交換を行った。 ② 津山ウインドファームを視察した。
活動の結果等	① 岡山県の北部は南部と比べて、人口も少なく岡山県政の中でも蔑ろにされがちだが、鳥取県と連携することで北部振興にも繋がりが、鳥取県にとってもメリットが大きい。引き続き、この議連を通しての岡山県との繋がりを有効に活用していきたい。 ② 大規模な風力発電施設が地元住民の反対で頓挫する事例が多くなっている中で、津山ウインドファームは地元ともうまく調整しながら建設を進めており、今後の再エネ発電施設の設置について大いに参考になった。
関連領収書番号	8-17

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会 ② 京丹後の山陰海岸ジオパーク施設等の視察 ③ 京丹後市の Maas について担当者から話を聞き、現地視察 ④ 芸術文化観光専門職大学の視察
活動年月日	2022年8月30日～8月31日
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ① 京丹後市丹後町間人 1780 京丹後市役所丹後庁舎 ② 京丹後市丹後町竹野 竹野漁港 京丹後市丹後町竹野 大成古墳公園 京丹後市丹後町竹野 313-1 道の駅てんきてんき丹後 ③ 京丹後市峰山町杉谷 943 KISSUIEN Stay & Food 京丹後市峰山町杉谷、京都丹後鉄道峰山駅 ④ 豊岡市山王町 7-52 芸術文化観光専門職大学
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ① 京都府丹後広域振興局 局長 平井公彦氏、他 ② 山陰海岸ジオパーク推進協議会 ■■■■■ 氏、他 ③ 北近畿タンゴ鉄道株式会社 代表取締役 嵯峨根正和氏、他 ④ 芸術文化観光専門職大学 副学長 川目俊哉氏、他
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会への出席 ② 鳥取家の山陰海岸ジオパーク施設等の充実のための調査 ③ Maas の研究 ④ 芸術文化観光専門職大学をジオパーク振興に活かすための調査
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会総会への出席 ② 京丹後の山陰ジオパーク施設等の視察 ③ 京丹後市の Maas について担当者から話を聞き、現地視察 ④ 芸術文化観光専門職大学の視察
活動の結果等	<ul style="list-style-type: none"> ① 総会に出席し、ジオパークの現状や今後について意見交換を行った。 ② 地元の人たちの取り組みを見聞する中で、ジオパークが単なる自然景観でなく人々の営みに密着したものだ改めて実感した。 ③ 京丹後市のエリア定額乗り放題サービス mobi は、他市町村でもサービスを開始しており、今後の公共交通の在り方として参考になった。 ④ 芸術文化観光専門職大学は開学してまだ1年余りであり、ジオパーク振興との連携については、今後の課題ではあるが、大学担当者と意見交換ができたことで、将来に向けて非常に有意義であったと思う。
関連領収書番号	8-25

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 食と観光についての調査 ② 歴史資産・遺跡を活かした観光についての調査 ③ 核燃料廃棄物の再処理の現状についての調査 ④ 八戸漁港の衛生管理についての調査 ⑤ ケミカルリサイクル実証プラントの現地調査
活動年月日	2022年11月8日～11月11日
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ① 青森市長島1-1-1 青森県庁 ② 青森市三内字丸山305 三内丸山遺跡センター ③ 上北郡六ヶ所村尾駁家ノ前1番7 環境科学技術研究所 上北郡六ヶ所村大字尾駁字沖付4-108 日本原燃(株) ④ 八戸市大字白銀町字三島下101 八戸市水産事務所 ⑤ 久慈市侍浜町本町9-54-1 積水バイオリファイナリー(株)
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ① 青森県観光国際戦略局観光企画課まるごとあおもり情報発信グループマネージャー総括主管 森庸宏氏 ② 三内丸山遺跡センター副所長 小関英規氏、他 ③ 環境科学技術研究センター特任相談役 トリチウム研究センター次長 共創センター次長 工学博士 吉田聡氏、他 日本原燃(株) 常務取締役 常務執行役員 経営企画本部副本部長 平木宏二氏 ④ 八戸市農林水産部水産事務所主幹 十文字俊祐氏、他 ⑤ 積水バイオリファイナリー(株) 代表取締役社長 久慈事業所長 戸野正樹氏
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ① 県産品の観光への活用を調査する ② 縄文文化の歴史資産・遺跡の観光への活用を調査する ③ 核燃料廃棄物の再処理の現状について調査する ④ 世界最高水準といわれる八戸漁港の衛生管理について調査する ⑤ ケミカルリサイクルの現状について調査する
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 青森県庁で担当から説明を聞いた ② 三内丸山遺跡センターを視察し、担当から話を聞いた ③ 環境科学技術研究センター、むつ小川原港、六ヶ所村 PR センター、日本原燃六ヶ所村再処理工場を視察し担当から説明を聞いた ④ 八戸漁港を視察し担当から説明を聞いた ⑤ 積水バイオリファイナリーの久慈実証プラント工場を視察し担当から説明を聞いた

<p>活動の結果等</p>	<p>① 農産品や魚のブランド化と食と観光の取り組みについて、県と市町村の連携の重要性を実感した。市町村の取り組みを支援し、県全体でのパッケージとしてプロモーションすることについて、鳥取県の状況を改めて確認するきっかけになった。</p> <p>② 三内丸山遺跡センターを核とした縄文の歴史文化の発信は、青谷上寺地遺跡、妻木晩田遺跡を抱える鳥取県における弥生の歴史文化の発信に参考になった。</p> <p>③ 島根2号機の再稼働に向けて核燃料の再処理と最終処分は鳥取県にとっても他人事ではない中で、再処理工場の現状について知ることができた。鳥取県としても工場の早期の再稼働を求めているかなければならない。</p> <p>④ 八戸漁港の衛生管理の現状について課題を含めて話を聞き、境漁港の衛生管理の参考になった。</p> <p>⑤ 廃プラを科学的に分解し原料にまで戻してから活用するケミカルリサイクルは、次世代のリサイクルの主流になる技術だと思われる。プラごみゼロに向けて、鳥取県でもこの技術を研究し、導入について検討することが必要だと感じた。</p>
<p>関連領収書番号</p>	<p>11-9</p>

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 関西脱炭素経営 EXPO の視察とセミナー受講
活動年月日	2022年11月16日～11月18日
場所	① 大阪市住之江区南港北 1-5-102 インテックス大阪
活動の相手方	① RX Japan 株式会社 主催
活動の目的	① 自治体の脱炭素化推進に向けて情報収集とセミナーの受講
活動の内容	① 関西脱炭素経営 EXPO の視察とセミナー受講
活動の結果等	① 国内の脱炭素の現状を把握するのに、この見本市に参加することは非常に有効である。ここで得られた情報を鳥取県の脱炭素化の参考にしたいと思う。
関連領収書番号	11-14

活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	① 広島県立美術館の視察 ② 脱炭素に向けて中国電力と倉吉市の連携についての交渉
活動年月日	2022年11月23日～11月24日
場 所	① 広島市中区上幟町 2-22 広島県立美術館 ② 広島市中区小町 4-33 中国電力(株)
活動の相手方	① 主任学芸員 角田新氏 ② カーボンニュートラル推進本部 部長 上田和彦氏 カーボンニュートラル推進本部 カーボンニュートラル戦略グループ マネージャー 小菅広司氏 カーボンニュートラル推進本部 カーボンニュートラル戦略担当部長 笠見茂男氏 鳥取副支社長 小林弘明氏
活動の目的	① 県立美術館が地域の文化芸術振興に果たす役割についての研究のため ② 脱炭素の推進における中国電力と倉吉市の連携を進めるため
活動の内容	① 美術館を視察し、学芸員に話を聞いた ② 中国電力(株)カーボンニュートラル推進本部に脱炭素に向けての自治体との連携について話を聞いた
活動の結果等	① 中国地方で初の公立美術館としてオープンした広島県立美術館は、旧広島藩主の浅野家所有の別宅の敷地に建てられている。「都会の中の憩いの空間」を基本コンセプトとしながら、デジタル技術の活用で時代の変化に対応した美術館を目指しており、建設中の県美における今後の公立美術館の方向性として大変参考になった。 ② 人口減少が加速する中で、住民に電気を安価で安定的に供給することは地域の持続可能性にとって大変重要な要素であるが、電力小売りの自由化後、過疎地域にとって、エネルギー資源のほとんどを輸入に頼っている。倉吉市の地産地消、自給自足再生可能エネルギー発電を推進することへのネックとなる安定供給について、を両立させるために、倉吉市と中国電力とで地域新電力会社を設立する案について、中電本社の意向を確認した。現状、中電として自治体と連携しての会社設立するつもりはないとのことだったが、脱炭素に向けての協力することについては吝かではないとのことだった。
関連領収書番号	11-20